

強者の戦略

こんにちは、日本史の岡上です。早いものでもう12月。月日の流れるスピードが上がっているのではないかと錯覚するぐらい、今年も目まぐるしく一年を終えようとしています。受験生の諸君は迫る本番に向けて準備は進んでいますか？今の時期はいままで培ってきた知識を、如何に確実に得点に変えていくのかが問われる時だと思います。焦る気持ちもあると思いますが、あまり奇をてらうことはせず、着実に実力をつけていってほしいと思います。

さて、第8回となる今回は2010年の東大日本史の第4問を取り上げてお話をしていきたいと思います。さあ、まずは1週間、しっかり問題を考え、自分なりの解答を作成してみてください。

【2010年度 東京大学 文科前期 第4問】

明治政府は、条約改正交渉を担当した井上馨を中心として、法律・美術・社交・生活習慣といった幅広い分野での欧化を促進した。これに対して、1887年頃には政治と文化の両面で、欧化主義への反発が方向の違いをふくみながらあらわれた。このような反発の内容と背景を、下の年表を参考にしながら、6行以内で説明しなさい。

- 1887年 2月 民友社(徳富蘇峰ら)、雑誌『国民之友』を創刊
- 10月 東京美術学校設立
- 10～12月 三大事件建白運動
- 1888年 4月 政教社(三宅雪嶺・志賀重昂ら)、雑誌『日本人』を創刊